

第 1 回 令和 2 年 1 2 月関越自動車道 集中降雪に関する対応検討会
議事要旨

1 日時

令和 3 年 1 月 2 7 日（水）16:00～18:00

2 場所

アートホテル新潟 4 階 越後の間

3 出席委員（五十音順）

大塚委員、上石委員、栗山委員、佐野委員（座長）、田村委員

4 議事要旨

1. 開会

2. 委員紹介

3. 検討会設立趣旨、規約について

佐野委員が座長に選出

4. 議事

（1）令和 2 年 1 2 月関越道集中降雪の状況とこれまでの取組み

（2）令和 2 年 1 2 月関越道集中降雪の際のお客さまの声等の分析状況

（3）今後の検討に向けて

議事（1）～（3）について意見交換を行い、委員より、

○チェーン装着に要する施設（チェーン着脱場）の整備も課題。

○情報を早期に把握する手法について、多角的に検討すべき。

○情報提供を行う場所や内容・量なども不足していることが明確化。

○今回の大雪に伴う滞留事象は「災害」であり、そのことを早期に認識できなかったことが問題。

○地球温暖化も含め、変動の大きい気象（災害事象）がこれからも継続していくと想定すべき。

○高速道路上の問題にとどまらず、関係自治体や関係機関との連携も含めて議論すべきであり、それぞれの機関の考え方を聞く場を設けてはどうか（ヒアリングを利用者に限定しない）。

○災害に対して、自助・共助・公助を含めて、幅広い議論が必要。

○富山・福井における事象も参考としつつ、過去には平成 30 年度において、「大雪時の道路交通確保対策中間取りまとめ」における整理された事項などもあり、これらの中から、関係機関との連携の強化や、情報収集・提供の区分などについて、今後の検討会で議論を深めていきたい。

などの意見が出された。

以上

第2回 令和2年12月関越自動車道 集中降雪に関する対応検討会
議事要旨

1 日時

令和3年3月1日（月）15:00～17:30

2 場所

アートホテル新潟 4階 越後の間

3 出席委員（五十音順）

大塚委員（欠席）、上石委員、栗山委員、佐野委員（座長）、田村委員

4 議事要旨

1. 開会

2. 議事

- （1）第1回検討会における整理事項
- （2）冬期道路交通確保対策検討委員会（第6回）の報告
- （3）令和3年1月北陸道・東海北陸道の滞留事象について
- （4）道路利用者・関係機関からのヒアリング結果（中間）
- （5）提言（案）の整理に向けて

議事（1）～（5）について意見交換を行い、委員より、

○全国的な内容を網羅するものであり、この検討会との関係性を考えて議論する必要がある。

○現場である新潟から降雪地帯の特性を踏まえた提言を上げるべきではないか。

○関係機関は被害を防ぐ・最小化することで方向性が一致していることが改めて強く確認できた。

○共通の課題としては情報提供や共有の不足があることを認識。

○関係機関の連携を一体的・定期的な訓練の実施などで作り上げていく必要がある。

○大雪に関して通行止めの基準のようなものを作っていけないか。

○全ての道路利用者に段階的な行動変容（代替手段・延期・中止・備え）をする意識改革が必要。

などの意見が出された。

以上

第3回 令和2年12月関越自動車道 集中降雪に関する対応検討会
議事要旨

1 日時

令和3年3月8日（月）10:00～12:00

2 場所

アートホテル新潟 4階 越後の間

3 出席委員（五十音順）

大塚委員、上石委員、栗山委員、佐野委員（座長）、田村委員

4 議事要旨

1. 開会

2. 議事

- （1）前回議事要旨の確認
- （2）検証のとりまとめについて
- （3）各委員からの提言
- （4）上記とりまとめ（案）について

議事（1）～（4）について意見交換を行い、委員より、

○移動中の車への情報提供と電車等の代替え手段がない貨物などについて情報提供の検討が必要。

○まとめる際に、実際に対応できた部分は載せていくべき。

○対応策の数が多いので、すぐ対応できることと中長期的に行うことを整理し、スケジュールを決めることが重要。

○提言取りまとめの方向性は、道路管理者だけでなく各関係機関が取り組むべきものとする。

以下の5つの力の強化を進めていくものとしてまとめる。

- I.（対応力強化）危機管理体制の再整備
- II.（情報力強化）広報・情報提供オペレーション
- III.（予防力強化）滞留車などの発生の予防
- IV.（予測力強化）滞留車や気象などの予測
- V.（基盤力強化）平時の技術開発・改良、施策への反映

などの意見が出された。

以上